

# 環境委員会

## 委員一覧 (21名)

委員長	猪口 邦子 (自民)	石井 準一 (自民)	浜野 喜史 (民主)
理事	森 まさこ (自民)	友納 理緒 (自民)	竹谷 とし子 (公明)
理事	吉井 章 (自民)	松下 新平 (自民)	山本 太郎 (れ新)
理事	三上 えり (立憲)	松山 政司 (自民)	高良 沙哉 (沖縄)
理事	串田 誠一 (維新)	長浜 博行 (立憲)	尾辻 朋実 (無)
理事	中田 優子 (参政)	水岡 俊一 (立憲)	寺田 静 (無)
	青山 繁晴 (自民)	伊藤 辰夫 (民主)	望月 良男 (無)
			(会期終了日 現在)

## (1) 審議概観

第219回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。  
また、本委員会付託の請願2種類14件は、いずれも保留とした。

### 〔国政調査〕

11月27日、環境行政等の諸施策に関する件について石原国務大臣から発言があった。

12月2日、環境行政等の諸施策に関する件について、中間貯蔵施設に保管する除去土壌等の福島県外最終処分に向けた環境大臣の決意、広島県呉市等におけるカキの大量死と気候変動の影響との関係及び政府の対応方針、リチウムイオン電池に起因する火災防止に向けた廃棄物処理施設の防火・消火設備への国の財政支援の必要性、クマの駆除だけでなくクマの人里への出没を防ぐ取組の必要性、問題のあるメガソーラーについての規制手段及び見直し、既存の水力発電、次世代型火力発電、原子力発電等の電源を最大限活用することの重要性、原子力災害時の屋内退避の運用に関する検討チーム設置の理由、PFAS汚染対策に関する政府の姿勢及び具体的な対策、水俣病被害者の救済に関する国の責任についての環境大臣の認識、猟銃の保管体制等を含めたガバメントハンターに関する法整備を行う必要性、国産SAFプロジェクトの進捗状況及び課題への対応状況等の質疑を行った。

## (2) 委員会経過

### ○令和7年11月27日(木) (第1回)

- ・理事の選任及び補欠選任を行った。
- ・環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。
- ・環境行政等の諸施策に関する件について石原国務大臣から発言があった。

### ○令和7年12月2日(火) (第2回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。

- ・環境行政等の諸施策に関する件について石原国務大臣、青山環境副大臣、宮崎防衛副大臣、友納環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

森まさこ君（自民）、三上えり君（立憲）、伊藤辰夫君（民主）、竹谷とし子君（公明）、串田誠一君（維新）、中田優子君（参政）、山本太郎君（れ新）、高良沙哉君（沖縄）、尾辻朋実君（無）、寺田静君（無）、望月良男君（無）

○令和7年12月17日（水）（第3回）

- ・請願第19号外13件を審査した。
- ・環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- ・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。